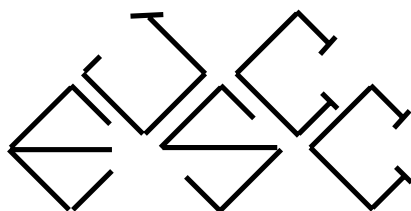


日中環境協力支援センター有限公司

Japan-China Environment Service Center



設立：2005年4月1日

住所：大阪府松原市岡2-12-4

中国連絡先：北京市朝陽区東三環中路39号

建外SOHO11号楼706室

日中協力機構内

E-mail：info@jcsc.com

URL：http://www.jcsc.com

代表：取締役 大野木昇司

取引銀行：UFJ銀行松原支店

更新 2005年10月14日

## 中国環境協力支援サービス一覧

---

1. 調査研究事業
  - 各種中国環境関連委託調査・研究：専門家リスト作り、中国環境問題重点領域研究
  - 環境ビジネス市場動向調査
2. 中国環境情報収集事業
  - 『週刊・中国環境ニュース』配信
  - オーダーメイド型 中国環境・エネルギー・資源保護情報提供サービス
  - シンポジウム代理参加・情報収集サービス
3. ビジネス支援
  - 環境関連製品・サービスの販売支援
  - 中国環境視察ツアーの企画、アテンド
  - 環境関連の広告代理
  - モデル事業立ち上げ支援
4. その他
  - 各種環境関連文書の翻訳
  - 環境交流会の開催
  - 関連の専門家、行政機関、研究機関、企業などの仲介

## 2005 年度前半期の主な事業実績(未完等含む)

---

### 1. 調査研究部門

#### 公益法人他

- A 独立行政法人：日中経済連携研究調査（大学教授と共同執筆、未完）
- B 独立行政法人：中国研修プロジェクト支援（継続中）

#### 民間企業

- A 社：中国北方一部開発区における工場環境マネジメント  
中国北方一部開発区における工場環境周辺マネジメント（未完）
- B 社：会員向け環境情報誌・中国進出企業の環境対策（未完）

#### その他

- 中国 A 機関：日本対中環境協力調査支援（未完）

### 2. 中国環境情報収集事業

- 『週刊中国環境ニュース』6月1日発行開始

### 3. ビジネス支援

- A 中国環境メディア：（近く公告代理店契約）

### 4. その他

#### 公益法人他

- A 特定非営利活動法人：月刊中国環境情報翻訳
- B 財団法人：中国環境情報配信翻訳（契約済、未開始）

## 履歴・業歴書

大野 木 昇 司 1972年8月生

現職 日中環境協力支援センター有限会社 取締役

「日中環境戦略研究家」ウェブサイト及び「中国環境最前線レポート」メールマガジンを管理・運営  
<http://www.realintegrity.net/~onogish/>

## 経歴

---

- 1995年3月 京都大学工学部衛生工学科卒業
- 1998年3月 京都大学大学院エネルギー科学研究科エネルギー社会・環境科学専攻修了(修士課程)
- 2002年6月 中国北京大学環境学院環境科学専攻修了(修士課程)
- 2002年9月 中国天津日中大学院環境管理学科専任講師(2003年1月まで)
- 2003年4月 国土環境株式会社 北京事務所入社(2005年3月まで)  
社団法人海外環境協力センター 兼職で客員研究員(2005年3月まで)
- 2005年4月 日中環境協力支援センター(有)を設立、代表に就任。北京にて長期出張

## 専門領域

---

中国環境ビジネス、中国環境政策、中国環境・発展問題研究、日中環境協力

## 主要論文・著作等

---

- ・2002年6月 北京大学城市與環境学系 環境科学専攻 環境管理方向 修士論文  
『中国報紙關於日中環境合作事業的報道分析』(訳:日中環境協力に関する中国新聞の報道分析)
- ・2002年12月30日 人民日報系サイト「人民網」掲載  
『北京環境ボランティアネットワークの活動紹介と存在意義』(中国語)
- ・2003年1月17日 人民日報掲載(人民日報系サイト「人民網」にも掲載)  
『緑手印フォーラム 自動車流行時代に如何に青空を守るか 各自の意見』
- ・2003年2月 北京日本語タウン誌・スーパーシティ北京 寄稿
- ・2003年7月 OECC(社団法人海外環境協力センター)会報『OECC 中国駐在員だより』
- ・2003年10月8日 ジェトロ叢書『職在中国』(副題:40人の日本人が語る就職企業チャレンジ)  
第四章「現地採用者・起業者の声」で、私の中国経験の話が6ページにわたって掲載
- ・2003年10月から、週刊『エネルギーと環境』に連載開始
- ・2004年1月 中国科学院主管の雑誌『中国国家地理』フカヒレ論争に中国語で寄稿
- ・2004年1月末から、水道産業新聞に中国水環境記事を翻訳・転載開始
- ・2004年4月 北京日本語タウン誌・スーパーシティ北京 掲載  
「風吹く草原からエネルギーが届く日」
- ・2004年6月から、月刊中国環境保護雑誌『綠色家園』NGO活動情報コーナーの執筆担当
- ・2004年8月 NHK テレビ中国語会話テキスト(8月号)  
「今、中国で働く」コーナーで私のインタビュー掲載
- ・2004年8月 『中国年鑑2004』(中国研究所編)の一部執筆担当  
特集・重大化する中国の環境問題の「グリーンオリンピック」解説コーナー執筆

- ・2004年9月 『中日水務情報』創刊号(初の日中両言語による水総合専門誌)  
「中国で活躍する日本人を訪ねて」コーナーで私のインタビューが掲載
- ・2004年12月 『中国環境ハンドブック2005-2006年版』(蒼蒼社、中国環境問題研究会編)  
「諸外国政府機関、国際機関の活動」部分執筆
- ・2004年12月 日本語情報誌『スーパーシティ北京』12月号に寄稿  
「中国も家電リサイクルへ 拡大生産者責任制導入が検討される」
- ・2004年12月 中国CDM業界誌『中国CDM市場追跡レポート』に中国語で寄稿  
「日本・京都議定書温暖化ガス削減戦略と中国CDM事業のチャンス」
- ・2005年2月 中国環境雑誌『綠色中国』2月号に中国語で寄稿  
小論文「稲むらの火に見る日本の津波対策」
- ・2005年4月 『日経エコロジーECO』5月号  
第一特集・「中国を汚すな!動く日系企業」から取材を受ける

## これまでの実績

---

### 会議発表

- ・1998年日本原子力学会(於近畿大学)  
『新聞論調からみた原子力界 - 問題点の推移と今後の展望 - 』
- ・2001年3月 北京環境ボランティアネットワーク 2001年第2回学習会  
(於日中友好環境保全センター)『中国の環境問題概要 ~日中比較を通して~』
- ・2002年5月 第4回BS-02研究会(於清華大学)『対中環境援助の中国紙での報道状況』
- ・2002年7月 環境教育会議(於甲南大学)『日中環境協力の中国紙での報道分析』
- ・2002年12月 北京環境ボランティアネットワーク主催  
(中国社会科学院環境・発展研究センター後援)  
パネルディスカッション『ボランティアと環境保護』  
パネラー発表『北京環境ボランティアネットワークの活動紹介と存在意義』
- ・2004年4月 日中民間水フォーラム(北京国際会議センター)  
「水と経済」分科会『中国環境ビジネス成功のための試案』
- ・2004年12月 天津 環境・循環経済国際シンポジウム(於天津南開大学)  
会議発表「日本のエコタウンの概要と問題点」(中国語)
- ・2005年5月 中国環境科学学会2005年年会 環境会計分科会  
会議発表「日本の環境会計普及の原因と中国での普及策」(中国語)
- ・2005年9月 「新郷土運動」フォーラム  
会議発表「日本の環境問題と日中環境協力について」(中国語)
- ・2005年9月 環境保護市民参加国際シンポジウム(国家環境保護総局宣伝教育センター等主催)  
会議発表「日本の環境会計」(中国語)

### 講演会

- ・2001年4月19日 於国際関係学院 『日中環境協力の現状』
- ・2002年5月18日 北京環境ボランティアネットワーク学習会 於東苑公寓会議室  
『日本の対中環境協力の中国紙での報道状況』
- ・2002年11月14日 天津科技大学綠色環保協会「原野の風」(於天津科技大学)  
『日本における使用済み乾電池の回収・処理の現状』(中国語)
- ・2004年10月14日 清華大学環境講演会(清華大学法学院環境資源報研究センター主催)  
『日中環境協力：歴史、形態と今後の発展』(中国語)

## 調査研究

### 公的機関

- A 対外援助機関：「中国環境情報収集整理提供事業(2003年4月～2004年2月)」
- B 対外援助機関：中国環境 ODA 私的勉強会報告書「中国環境問題(汚染分野)と重点課題」  
(2003年12月～2004年3月、中国の環境専門家4名と研究チームを作り受託)。
- B 対外援助機関：「環境協力情報収集等業務実施」事業  
(1期04年7月～05年2月、2期05年7月～05年12月)
- B 対外援助機関：「林業生態情報収集等業務」事業(2005年2月～2006年3月)
- C 科技系機関：「中国環境科学研究機関・研究者データベース作成」事業  
(2004年8月～2004年11月)

### 民間企業

- A 社：中国北方一部開発区における工場環境マネジメント  
中国北方一部開発区における工場環境周辺マネジメント(未完)
- B 社：会員向け環境情報誌・中国進出企業の環境対策(未完)

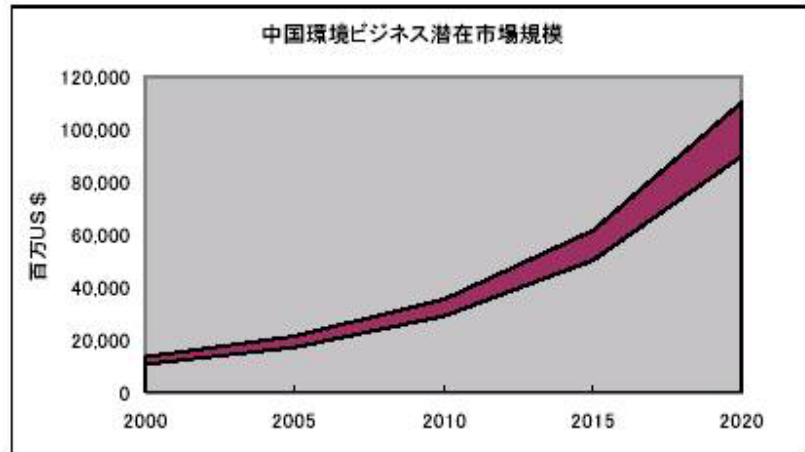
### その他

- 中国 A 機関：日本対中環境協力調査支援(未完)
- 中国 A 機関：「日中協力・中西部地区環境系大学・学部教育支援事業のための予備調査」

## 週刊中国環境ニュースのご案内

20年以上続く中国の高度経済発展とともに、汚染物質排出量の増大や生態系の破壊といった環境問題が深刻化しています。その一方で、中国では環境保全事業も著しく発展しています。例えば第10次五カ年計画期間（2001-2005）の環境投資計画額は7000億元、これは第9次五カ年計画（1996-2000）の同額4500億元の1.56倍です。WTO加盟、ニーズの高まりなどから、環境インフラも市場開放されます。

出典：「アジア主要国の環境ビジネスの潜在市場規模推計に関する調査報告書」、環境省、2004年3月



日本の環境技術は世界のトップレベルにありますが、中国では必ずしも存在感が高くありません。それは、環境市場で健闘している欧米諸国や韓国に比べ、中国環境関連の情報収集・分析、幅広い人脈構築、情報発信に関する力不足が原因にあると思われます。

以上の実情を踏まえ、本サービスでは環境対策を中国で進める日系企業のほか、中国環境問題関連の研究機関や研究者、行政機関、NGOの方々に、中国環境最前線動向を日本語でまとめて提供することを目的としています。また情報発信に関するオプションサービスもあります。

急速に動く中国の環境保全をめぐる状況をリアルタイムに皆様にお伝えすることができる、日本人の環境に対する観点と中国人の環境に対する観点を踏まえた、中国環境情報の専門家による「週刊中国環境ニュース」をご活用ください。

### <特徴>

- ・毎週20以上の環境・エネルギー関連のビジネスや研究に直結する記事のほか、法令情報・会議展示会情報などをまとめています。
- ・毎週の中国環境ニュースを次週の木曜までに配信するので、中国環境動向がリアルタイムにわかります。
- ・中国の環境保全の動向だけでなく、気になる諸外国の対中環境協力の動きもウォッチ。
- ・ご意見、ご質問も受け付けます。できるだけ編集に反映させていただきます。
- ・既存の日本語で読める中国環境記事をまとめたメルマガ「中国環境最前線レポート」(無料)との併用を前提としております。記事選択に当たっては、重複しないようにしております。

### <扱う主な内容>

- ・汚染問題（大気環境、水環境、廃棄物）
- ・エネルギー（脱硫、再生可能エネルギー、省エネ）
- ・生態環境保全（砂漠化対策、生物多様性保護、植林等）
- ・地球環境問題（CDM等）
- ・環境研究動向（環境科学、環境工学、環境経済学等）
- ・資源保全（リサイクル、循環型社会）
- ・化学物質動向
- ・企業環境対策（EMS、CSR等）
- ・環境関連の政策動向、法律規制
- ・環境ビジネス市場動向

・環境展示会や環境シンポジウムの情報

・環境・資源・エネルギー関連の法令フォロー

### <サービス内容>

- ・PDF ファイルによるニュースレター形式で、年間約 40 回配信いたします。ただし正月、旧正月、ゴールデンウィーク、お盆、中国国慶節などの週は基本にお休みし、次週に合併号を配信します。
- ・年間利用料金は、36 万円です。月ごと（1 ヶ月 3 万円）の申込も可能です。（いずれの価格も、消費税免税事業者につき税込み）
- ・ご意見、ご質問を受け付けます。ご質問への回答は、本格的な別調査が必要になるものを除いて無料です。ご意見は編集にできるだけ反映させていただきます。

### <週刊中国環境ニュース Q&A>

Q1.中国環境最前線メールマガジンにも環境ニュースがありますが、どう違うのですか。

A1.同メルマガ中の中国環境ニュースは、一般的な内容しかなく、中国環境ビジネス、中国での環境対応、中国環境問題研究、中国環境政策ウォッチには深さ、広さの面で不十分です。そこで当社がこれらに対応できるように、同メルマガと記事が重複しないように、独自に重要と思われる記事を選び、専門家による翻訳及びチェックを行っています。

また記事のみならず、中国環境関連の法令のフォローアップ、シンポジウムや展示会などの環境イベント情報も充実しています。サンプル版がダウンロードできますので、ご覧ください。

Q2.社内での転送はかまわないでしょうか。

A2.社内及び同一企業グループ内での転送はかまいません。大学などの研究機関、公的機関、NGO でも、その大学内、機関内、団体内での転送はかまいません。

Q3.記事を別のメディアに転載したいのですが。

A3.各記事は翻訳許可を取っていないので、別メディアでの転載はできません。当社との別契約でご協力は可能です。

Q4.価格は安くないでしょうか。

A4.他社の同様サービス内容より低く価格を設定しています。一般記事の配信サービスより高めですが、中国滞在歴 7 年の日本の中国環境専門家を代表とするチームが時間をかけて行っている専門ニュース配信ですので、ご理解願います。

### <サンプル>

- ・サンプルをご用意いたしました。以下の申込送信先まで、お問い合わせください。

### <申込方法>

- ・申込書をこちら（<http://www.jcesc.com/moushikomi.doc>）からダウンロードし、申込書に必要事項をご記入の上、以下のメールアドレスに送信ください。申込書確認後、配信開始します。ご入金申込 1 ヶ月以内をお願いします。申込書送信先：info@jcesc.com,onogi@jcesc.com(両方にご送信ください)